

舵輪

第165号
2021年 春 発行



舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

165号

風薫る爽やかな季節となりました。皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

総帆展帆の中止及びフルハーネス特別教育の実施が延期となり、皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

発行が遅くなってしまいました。舵輪165号では、新年度の人事異動等についてご紹介いたします。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

退任のご挨拶



海事課 技術員
尾形 章
(おがた あきら)

3月31日をもって海王丸財団を退職、海技教育機構に復職することになりました。あっという間の2年間でした。

今回、5年ぶりの財団勤務でした。懐かしい顔ぶれの方々にお会いでき、お元気だったのは喜ばしいことでした。今回も楽しみながら勤務をさせていただきました。

また着任の挨拶にも書きました「きれいな海王丸を見てもらえるように」は今回も精一杯、整備ができたのではないかと思います。

今後も海王丸パークに来て下さった、たくさんのお客様に楽しんでもらえる海王丸パークになるのを願い、退任の挨拶とさせていただきます。



海事課 技術員
田原 真仁
(たはら まこと)

この3月で伏木富山港・海王丸財団での勤務を終え、練習船に復帰することになりました。

財団勤務での2年間では、今まで経験したことの無い事が多く、最初はわからないことがありましたが、海事課の先輩や財団の方々の支えもあって無事ここでの

生活を終えることができました。本当にありがとうございました。

また機会があれば、富山を訪れたいと思っています。2年間ありがとうございました。



総務課 主任
山田 貴哉
(やまだ たかや)

平成30年4月から3年間、大変お世話になりました。財団勤務の3年間、何とかやってこられたのは会長をはじめ、財団職員皆様方のおかげです。振り返ると、財団ではイベント業務をはじめ、施設管理業務、予算管理など、幅広く、未経験の業務に携わることができ、貴重な経験となりました。そして、海王丸パークという観光地での勤務、また、富山県、海技教育機構、財団の職員の方とご一緒させていただき、とても刺激を受け、充実した楽しい3年間を過ごすことができました。この度の人事異動で射水市本庁へ戻ることとなりますが、折を見て、海王丸パークへ遊びに来たいと思います。

今後とも、財団の皆様、海王丸ボランティアの皆様のご健勝とご多幸、そして帆船海王丸の益々のご発展を心からお祈りし、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

着任のご挨拶



海事課 業務技師
堀 昭博
(ほり あきひろ)

この度4月1日付で海事課 業務技師として着任しました、堀 昭博です。以前、平成15年10月から2年間出向でこち

らでの業務にあたっていました。この度、ご縁がありまして再びお世話になることになりました。前回の出向の際には海王丸生誕100周年に向けての計画が持ち上がっており、私が練習船隊へ復帰した後に本格的にその計画が進み始め、入渠大改修も行われました。

これからは無事、生誕100周年の行事を迎えられるよう、改修後の保守整備に力を注ぎ、晴れやかな海王丸の姿を世界中の方々に見ていただきたいと思います。

ただ、これは我々海事課だけの力では成し得ることが出来ません。ここまで来るのにもボランティアの皆さんの協力があったからこそです。これまでも、これからもボランティアの皆さんの協力、よろしくお願いいたします。そして一緒に海王丸生誕100周年を迎えましょう。



海事課 技術師
鎌田 広志
(かまた ひろし)

4月1日付けで着任した 海事課技術員 鎌田 広志です。まだまだコロナウイルスの収まりが見えそうに無く、ボランティアの皆様にお会い出来るのには、時間がかかりそうな気がしますが、前任者同様、宜しくお願いします。

私も含め、感染対策をしっかりと、元気に会えるのを楽しみにしています。

短くではありますが、着任のあいさつとさせていただきます。



総務課 主事
磯部 博貴
(いそべ ひろき)

令和3年4月より、射水市から伏木富山港・海王丸財団に派遣となりました磯部です。

海王丸パークは、幼い頃から、何度も親に連れてきてもらった思い出の場所です。小学生の時には、帆船海王丸での海洋教室、中学生では14歳の挑戦で職業体験もさせて頂いており、この度当財団に配属されたことに、とても縁を感じております。そんな中、来場された方が、海王丸を見て、「すごい」、「きれい」と話され、ふれあい広場では子供たちが楽しそうに遊んでいるのを見ると、自分の楽しかった記憶が蘇るとともに、地元である富山県の射水市にこのような素敵な場所があること、そしてその環境で働けることを大変誇りに思います。同時に、帆船海王丸の誘致、その後の船体整備、パークの整備、維持、管理等に関与された方々の想いを考えると、非常に感慨深く、大きな責任も感じます。

日本海側を代表する観光地に配属された誇りと、これまで受け継がれてきた想いを胸に、一層人びとが集い、学び、憩う場の形成を目指し、業務に取り組んで参ります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

ちびっ子天国 in 海王丸パーク開催

昨年度は緊急事態宣言中のため開催出来なかった「ちびっ子天国 in 海王丸パーク」を今年度は開催することが出来ました。これまでと違いパークの入口にゲートを設置し、検温、記名、手指消毒、マスク着用等の感染症対策や海王丸乗船についても整理券を配布し、人数制限を行いました。



イベント期間中の天候に恵まれた3日には縦帆10枚の展帆、4日には親子展帆を行いました。例年のイベントに比べると少ない来場者

ではありましたが、久々に海王丸パークも賑やかな2日間となりました。



SDGsと海王丸

最近よく耳にするSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) について、GW中の「ちびっ子天国 in 海王丸パーク」にて、海王丸に最もかわりの深い「14. 海の豊かさを守ろう」の特別展示と、〇×クイズを行いました。〇×クイズでは、海洋プラスチックごみなど海洋環境などの問題を多くの子供たちが楽しく答えていました。これからも海の豊かさを守るために、このような活動を行っていきたいと思います。



新型コロナウイルス関係

全国各地にて感染再拡大中の新型コロナウイルスですが、富山県においても新規感染者数が増加傾向にあり、4月23日にはステージ2への移行、更に5月21日に「富山県感染拡大特別警報」が発令されました。

5月上旬にお送りした「ボランティアの集い議事録」にて、4月・5月の総帆展帆を中止する旨を記載いたしました。以降の総帆展帆につきましても中止をする方向で検討しております。現段階では、

- ・6月13日（日）
- ・7月22日（木・祝）

の総帆展帆につきましては、中止いたします。

当財団において感染者を出さないように、一般公開中におきましては検温・手指消毒の実施、船内各所の消毒の実施を継続して行っております。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、総帆展帆再開まで今しばらくお待ちくださいませ。

フルハーネスについて

皆様へのご案内が遅れております、フルハーネス型墜落制止用器具に関しまして、現状のご連絡をいたします。海王丸では、現在、特別教育及び新規ボランティア養成訓練にて登檣訓練を行う際に使用するメインマストに、「親綱」及び「安全フックライン」という新たに使用するロープの設置作業を実施中です。また、フルハーネスのセットは現時点で30セット（但し海事課職員用を含む）、夏頃までにさらに追加

で納品予定です。まもなくご案内をお送りできるかと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

Instagramより

昨年12月からはじめたInstagramも、フォロワーが300人近くとなりました。いつもご覧いただきましてありがとうございます。今回も、Instagramにて投稿した鯉のぼり掲揚式やロケットカード等の写真をご紹介します。



編集後記

私の人生で最も厳しい冬が終わり、春が到来したことに非常に感動しました。西日本ではだいぶ早い梅雨入りでしたが、北陸はいつ梅雨入りするのやらという天気が続いています。大雨による災害がなく、無事夏を迎えられることの願っております。富山の夏もとても厳しいと聞いておりますが・・・(くま)

舵輪 第165号

発行日 2021年6月

E-mail

by-the-wind@kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

〒934-0023 富山県射水市海王町8番地

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

URL <http://www.kaiwomaru.jp>